

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	加東市電子自治体推進計画策定委員会（第3回）
開催日時	平成28年12月26日(月) 15時32分から17時40分まで
開催場所	社福祉センター2階 レクリエーション室
委員長の氏名（小和田 善之）	
出席及び欠席委員の氏名 櫻間 秀彦 ・ 勝田 憲弘 ・ 森 幹雄 ・ 森岡 伸寿 長濱 正宏 ・ 北原 豊 ・ 澤野 俊一（欠席）	
出席した事務局職員の氏名及びその職名  総務部長 時本 敏行 総務課 課 長 長田 徹 副課長 原田 幸広 ・ 主査 小笠原 和慶	
傍聴者 1名	

## 会議結果

会議録署名委員 森岡 伸寿 ・ 長濱 正宏

### 議 事

- (1) 電子自治体推進計画の素案について  
【資料－1】【素案】【別紙】

文言修正をおこない、委員の確認後パブリックコメントで提示する

- (2) パブリックコメントについて  
【資料－2】

資料（案）のとおり決定した

※配布資料一覧については、最後頁に掲載

(1) 電子自治体推進計画の素案について

- 委員長 推進計画の基本の方向性を当計画に盛り込む。詳細な部分については次のアクションプランで協議されたい。  
では、事務局から説明願う。
- 事務局 説明
- 委員 市で情報政策課を設けるよう記載して欲しい。
- 委員 素案には、すでに実施しているものと、未実施のものが混同している。
- 委員長 すでに取り組んでいるものは、さらに進める、発展させるという表現です。今から取り組むものは研究、検討します。という表現になっています。
- 委員 どうするから、こうなります、って表現にしたほうがわかりやすいと思う。
- 委員 ここではそこまで細かに言えない、方向性ですよ。
- 委員長 すでに導入されているものはどう進めるのか、拡充するのか、新規のものは調査、検討と表現方法を検討して欲しい。記載の順序も考えたほうがいいかもしれません。
- 委員 今後、取り組みの優先順位をつけていきますよね。
- 事務局 費用も伴う。次のアクションプランにて順位をつけたい。
- 委員長 ここでは記載順に優劣をつけず、まずは記述があるというところで収めましょう。
- 委員 防犯カメラは、多くの自治体で取り組んでいる。そのデータが無線で配信できる設備もある。かたやプライバシーの面での配慮も要る。
- 委員長 「2 暮らしの質の向上」 ○きめ細やかなニーズの対応のところ、決め細やかな市民ニーズへの対応を目指すとある。どんなイメージですか。
- 委員 市民ニーズ把握のことかと思います。
- 委員長 「3 地域力の強化」について
- 委員 子どもたちの登校、下校時のメール配信とか考えていますか。
- 委員 付属小中はすでに希望者対象に導入されています。
- 委員 通学路の途中に通過した、といった情報を送るものもあります。機器も安価になりつつある。また防犯カメラに子どもたちが通過した折に、それを読み取る機器もある。
- 委員 屋敷地区がドローン活用をしていると聞いた。
- 委員長 確かに、その活用はここかと思う。
- 委員 高齢者の見守りもICT活用できるのでは。
- 事務局 靴のなかにGPS埋め込んで居場所を感知するシステムも導入している。  
ただし、身に着けていないと作用しない。
- 委員 そのあたりは課題ですよ。次に土砂崩れ対策にセンサーとか埋め込んで少しの動きで察知するシステムはあるのか。
- 委員長 すでに災害が心配されるところは入っている。その内容は安全・安心の推進のところですかね。記載してもいいですね。  
では、次に「4 産業の振興」について

委員 商工業に関する記述が少ない。

委員長 「5 行政のオープン化・効率化」について

委員 コストダウンのところで、「積極的に」を削除して欲しい。

委員長 オープンデータのイメージは。

事務局 窓口にくられる方の手続き内容や年齢等をデータ集計し、時期や業務を偏りを業務の効率化に反映させる、といったイメージです。またGISデータ地域との人や職業の分布を資料して活用していくといったイメージです。

委員長 「6 社会とICTの調和」

委員 電子市民とはどんなイメージですか

事務局 仮想市民のイメージです。可能性として考えた。

委員 抽象的すぎ、わかりにくいかと思う。

委員 もう少し、具体の文章を加えますか。

委員長 確かに明確な目的が見えませんが。

事務局 少し飛躍したところもあります。この文言については削除します。

委員 ICT活用の学校教育ですが、電子黒板は今から増やすってことですか。

事務局 すでにいきわたっていますので、タブレット端末との兼ね合いもある。どう活用していくかだと思います。

委員長 教育のICTとして、中学生へのIT教育の充実とは、中学生に限定する意図があるのか。

委員 企業が小学校へスマートフォンの利用法(倫理)を説明にまわることもある。

委員長 そうすると、中学校に限定することもないと思うが。

委員 そういうのを進めて、学校にWifiの機能を持たせるべきなのか。

委員 学校が避難所になった場合、設置のWifiを被災者に活用するとか。

委員長 ここの、IT教育の枠組みとは異なる。ここではIT構築(技術)の話、人材育成にむけた教育と捉えればよいかと思う。次のモラルのところは、どこで何を、というところの記載がない。

事務局 ネット見守隊をすでにやっていますが、公共施設通信設備を設置していく上で、子どもたち(使用者側)にその危険性を伝えていくべきかと思う。

委員 中学校でも、ネット見守隊から、指導が入る事例も聞く。

委員 画像投稿等は便利な分、いきいきに広がる怖さは伝えるべきかと思う。

委員長 ほかになければ以上で終了します。

## (2) パブリックコメントについて

事務局 今後のスケジュール等含め確認した。

【配布資料】

資料番号	資料名称
資料－１	基本方針の事前検討（再） ～ クラウド化を例として
資料－２	加東市電子自治体推進計画の素案の骨子について
配布資料１	クラウド化による試算表
配布資料２	電算関連経費内訳（平成２７年度決算額）
別冊１	（参考） 亀岡市情報化推進計画（※基本方針部分の一部抜粋）
別冊２	（参考） 猪名川町情報化計画基本方針